



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 雫石 隆子

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

定時総会、5月21日開催へ
芸術祭の日程変更で前倒し
直後の理事会で執行部選出

当協会の令和4年度定時総会が5月21日、仙台市青葉区の市福祉プラザで開かれる。第59回宮城県芸術祭が7月に2カ月以上も早く開幕するのに伴って、開催日程を早めた。また、直後の理事会で、新執行部を選出する。創設60年の節目を目前に、新たな時代に向かう協会のかじ取り役として重責を担うことになる。

く雫石隆子理事長があいさつ。協会運営に対する協力への謝意とともに、協会が還暦目前の記念すべき局面にあることにも言及。結束して協会を盛り上げていくよう呼び掛ける。

続いて議長を選出。令和4年度の事業計画及び収支予算について報告し、3年度事業報告及び収支決算等の議案について審議、可否を決する。

新型コロナウイルスの感染が高止まり状態で、不安を払拭し切れていないが、前年同様、感染予防に努めながら、例年通りの会場で総会を開く。

本年度の事業計画は従来、9月下旬に設定されてきた県芸術祭の開幕が、展示会場となるせんだいメディアテークの改修工事実施に伴い、7月上旬に大幅に前倒しになるのが大きな変更点。窮屈な日程を言い訳にすることなく、むしろ、60回につな

ぎける重要な芸術祭と位置付けて実り多い祭典となるよう、改めて心に刻む機会としたい。

総会では会議成立の要件を満たしていることを確認した後、役員の内閣制により今回で退

ける重要な芸術祭と位置付けて実り多い祭典となるよう、改めて心に刻む機会としたい。

本年度の総会は、役員（理事・監事）の改選に伴う人事議案の議決も重要な案件。当日の承認を受けて、総会後直ちに新理事会による理事会を開き、理事長及び執行理事を選出する。

役員の内閣制により今回で退

ける重要な芸術祭と位置付けて実り多い祭典となるよう、改めて心に刻む機会としたい。

本年度の総会は、役員（理事・監事）の改選に伴う人事議案の議決も重要な案件。当日の承認を受けて、総会後直ちに新理事会による理事会を開き、理事長及び執行理事を選出する。

事業計画、収支予算を議決
理事会開催、推薦役員も了承

令和3年度第4回理事会が3月18日、協会会議室で開かれ、4年度の事業計画及び収支予算を議決した。理事会による役員（理事・監事）候補者推薦についても了承。5月の定時総会に諮り、議決を経て正式に決まる。

を踏まえ、想定される創設60周年の記念事業にも目を配り、例年にも増して内容を精査。事業、財務担当執行理事の説明に基づいて審議し、全会一致で可決、承認した。

理事会には12名が出席。雫石隆子理事長のあいさつに続いて、司会の吉田利弘執行理事が会議の成立要件を満たしていることを報告し、議事に入った。

推薦の議案も「異議なし」として可決、承認された。役員候補者に関する法人運営規程の一部改正については、異論が出て採決を見送り、適否を含めて改めて検討することになった。

議案は、第59回宮城県芸術祭を中心とする各部の事業計画案及び収支予算案、名誉会員の推薦など4件。事業計画案及び、収支予算案は、厳しい財政事情

協会は、理事会からの役員推薦等の1件。既に現役員4名全員の内諾を得ており、質疑はなく、次回理事会で審議、各部推薦の役員候補者とともに人事議案にまとめ、総会に提出される。

定時総会恒例、記念講演会の講師が白津守康さん（仙台市在住）に決まった。

仙台商工会議所の元青年部長で、まちおこしに関心を持ち、芸術に対する理解も深い。「立派な話ではありませんが、笑いを伴う漫談調な講演で構わないのであれば」と、

当協会の賛助会員（団体）で、落語の寄席として知られる魅知園定席「花座」の席亭。会社を経営する一方で、仙台三

仙台商工会議所の元青年部長で、まちおこしに関心を持ち、芸術に対する理解も深い。「立派な話ではありませんが、笑いを伴う漫談調な講演で構わないのであれば」と、

越近くに2018年4月、花座を開場し、毎月、落語芸術協会の寄席を開催して、みちのくに笑いの文化を届けている。

が、肩の凝らない名調子で、落語との出会いから、その魅力を通じた白津さん流の芸術文化論まで披歴してもらえそうだ。

記念講演、講師は白津守康氏
「花座」席亭、漫談調に期待

快く引き受けていただいた。演題は未定だが、

令和4年度、慌ただしくスタート 年度またぎで芸術祭開催準備 役員改選期、体制も大幅改変

令和4年度が慌ただしく幕を開けた。協会の基幹事業、宮城県芸術祭開幕時期が大幅に早まり、年度をまたぐ形で準備が始まっているためだ。2年に一度の役員改選期で、4、5年度の

東北・北海道芸術文化団体協議会(芸文協)の幹事業務に伴い、定時総会開催の繰り上がりも重なる。創設60周年記念事業の本格検討も迫り、協会挙げて迅速な対応が求められる。

例年、芸術祭の準備が加速するのは総会后。4年度は展示会場、せんだいメディアアテークの都合で、開幕は7月上旬。いきおい、開催要項の作成をはじめ、開催の諸準備の着手時期が前倒しとなる。このため、一部、4年度予算の3年度内執行を認めることにした。

準備作業の進展見通しと開催までの期間を逆算しつつ、多くの部で準備作業に入っている。宮城県芸術祭委員会並びに部長会議の開催も早まる。例年、

本年度は役員改選期。理事長と執行理事一人が「役員定年」で退き、新体制発足に向けて緊張感が漂う。運営には新理事長の個性にもじむはずで、新風を大いに期待したいところだ。

開幕の1〜2カ月前には、芸術祭全体の開催要項を策定しており、時間の余裕は乏しい。会員も同様。制作の開始を早め、既に仕上げの段階を迎えつつある会員もいるようだ。

執行部の忙しさも日増しの状況だ。新型コロナウイルスと共存にある芸術祭への目配りのほか、会長県として12年ぶりに芸文協の幹事業務を担うこととなる。こちらも新型コロナウイルスの感染動向をにらみ、適切な遂行に努める必要がある。

新名誉会員に跡部高染、高橋通子、高橋威仙3氏 絵画、工芸、茶道 協会の発展に寄与

3月18日に開かれた理事会で、絵画部(洋画)の跡部高染さん(仙台市)、工芸部(七宝)の高橋通子さん(同)、茶道部の高橋威仙さん(同)が名誉会員に推薦され、本人の承諾により、4月1日付で就任した。

跡部さんは、社団法人から公益社団法人に、またがって理事

宮城県が重要視する県制150周年記念事業への協力、また、定款にうたう国際事業推進に沿うとの位置付けで、友好関係を結ぶ県と中国吉林省の交流事業にも参画する。県との関係強化に向けて、主催者の感覚で積極的に臨まねばならない。多忙かつ難しい対応が控えているが、乗り越えてこそ、確かな手応えを持って60周年の新たなフェーズへと進むことができるとの思いを共有したい。

を務め、協会の基盤づくりに深く関わり、その後の発展に尽力。県教育文化功労者、宮城県芸術選奨を受賞している。

高橋通子さんは社団法人当時、副理事長を務め、工芸部のけん引役として、業界並びに協会の活性化に貢献してきた。宮城県芸術選奨、地域文化功労者

監査報告書を提出 両監事、適正処理認定

令和3年度の事業運営及び決算の状況等について監査する監事会が4月11日、協会会議室で開かれた。岡本勝監事が事業報告書や重要な決済書類を閲覧し、事務局員に説明を求めるとして監査を進めた。佐藤光郎監事も後日、内容を確認した。

その結果、いずれも適正に処理されていると認定した。その他として①60周年記念事業の検討を始めるとともに、財務、事業の在り方を掘り下げるなど、協会の維持・発展に向けた組織の体質強化に努めてほしい②会員数の減少と高齢化への対応を、協会の存立基盤に関わる最重要の課題と位置付けて、効果的な対処方針の検討を進めてほしい

表彰の栄に浴している。高橋威仙さんも、副理事長、公社移行時には執行理事を務めた。大日本茶道学会に所属し、茶道の普及・振興、協会の発展に尽くした。地域文化功労者表彰を受けている。

いずれも協会参事に処遇されており、法人運営規程に基づいて「満85歳に達した」のを機に、協会への功績顕著として名誉会員に推挙された。

い1の2点を要望した。監査後、岡本監事は隼石隆子理事長、執行理事4名と意見交換。知恵を出し合い、会員が心を一つに直面する課題に取り組むことを申し合わせた。

令和4年度、部長、副部長決まる

令和4年度の各部の部長、副部長が決まった。任期は2年。太字は新任。◎は部長、○は副部長。

- 【絵画部】◎山家利治○飯塚みづゑ、小野寺康、中村喜吉【彫刻部】◎大槻俊之○阿部弘子、小関俊夫【工芸部】◎鍋田尚男○川北京子、樋田隆【書道部】◎渋谷青龍○加藤松軒、佐藤象雲【華道部】◎佐藤華咩○手塚菖園【洋楽部】◎渡部勝彦○岩倉敦子、最上陽子【邦楽部】◎杵屋和喜久○杵家弥登鈴【演劇部】◎大日琳太郎【文芸部】◎玉田尊英○小林里子【舞踊部】◎高橋厚子○花柳寿美衡【茶道部】◎鎌田宗節○菅原宗玉【写真部】◎庄司多賀雄○山田愛子、山本かつい

◆新運営委員

- 【絵画部】土屋薫【彫刻部】永倉香名子【書道部】吉岡芝耕、小嶋カズ子、佐々木藤恵【華道部】郡山里芳、庄司緑瞳、佐藤理智【洋楽部】浅野裕里香、三野宮まさみ、山田みつほ【文芸部】八田一夫、渡辺光昭【茶道部】庄子翠涛、根本仙喜、菊地純雪【写真部】伊藤トオル、小松原秀樹

令和 4 年度新入正会員名簿

Table with 3 columns: 部門 (Department), 氏名(本名) (Name), 住所 (Address). Lists members across various departments like 絵画部 (Painting), 書道部 (Calligraphy), 華道部 (Floral Art), etc.

部門 34 名にとどまり、前年度の同時期 45 名を下回った。新会員については本年度、50 名を見込んでいる。高齢化等に伴って退会が相次ぎ、入会の低迷は会員数の減少を招く。事は協会運営の基盤に直結するだけに、引き続き組織を挙げて新入会員の勧誘、働き掛けに努めたい。(4 月理事会分は次号掲載)

新入会員 34 名 理事会で承認

令和 4 年度、新たに仲間に加わる会員が 3 月の理事会で承認された。総数は絵画、書道、華道、洋楽、演劇、文芸、写真の 7

第 42 回音楽コンクール 前回並みの参加者確保

第 42 回音楽コンクールが 2 月 3 日、日立システムズホール仙台で開かれた。新型コロナウイルス感染症の第 6 波が襲来。実施が危ぶまれたが、防止策を徹底し、厳しい局面をくぐり抜けて、開催に漕ぎつけた。



ピアノ、ヴァイオリンの 2 部門で、予選は 2 月 13 日、本選は 3 月 13 日に実施した。応募者はピアノ 160 名(前年 159 名)、ヴァイオリン 51 名(同 58 名)で、コロナ危機の厳しい環境の中、前年並みの参加者を確保した。今回は無観客で行った。審査結果も予選は全て翌日、協会のホームページで発表。本選はヴァイオリンのみ当日発表、表彰式を行った。ピアノは予選を踏襲し、表彰式も見送った。子どもたちは、いずれも緊張した面持ちでステージに立ち、日頃の練習の成果を披露した。貴重な発表機会を得た参加者

Table for Violin Department (ヴァイオリン部門) awards, listing winners by grade (初級, 中級, 上級) and award type (最優秀賞, 優秀賞, etc.).

Table for Piano Department (ピアノ部門) awards, listing winners by grade (初級A, 初級B, 中級A, 中級B, 上級A, 上級B) and award type (最優秀賞, 優秀賞, etc.).

Table for Special Awards (特別賞) listing winners and their respective departments and awards.

は、それぞれに手応えと達成感を得て、会場を後にした。コンクールは洋楽部主管で、第 58 回宮城県芸術祭の一環。コロナの動向を気に掛けながら、入念な準備を重ねて、難しい状況の中、人材育成を主たる狙いとするミッションを完遂した。入賞者は名簿の通り。ピアノ部門の特別賞受賞者ら各級上位 3 名は日本室内楽ピアノコンクール本選(東京)への参加資格を獲得した。9 月、優秀者によるガラコンサートも行われる。

令和 4 年度事業計画

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

本協会を中心とし、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団の8団体共催により、本年で59回目となる宮城県芸術祭を開催する。

なお、本年は宮城県制150周年の年にあたり、県との連携により記念事業の関連行事にも位置づけ、あらゆる事業の中で、県制150周年の周知・広報等にも対応していくこととする。

芸術祭開催期間は7月9日(土)の開会式(会場:せんだいメディアテーク)から、11月28日(月)の表彰式(会場:ホテルメトロポリタン仙台)を経て、翌年3月26日(日)の音楽コンクール本選(ヴァイオリン部門)までの期間となる。各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
展示関係事業	華 道 展	7月9日(土)～7月12日(火)	せんだいメディアテーク
	書 道 展	7月9日(土)～7月12日(火)	せんだいメディアテーク
	写 真 展	7月16日(土)～7月19日(火)	せんだいメディアテーク
	彫 刻 展	7月16日(土)～7月19日(火)	せんだいメディアテーク
	絵 画 展	7月23日(土)～7月26日(火)	せんだいメディアテーク
	工 芸 展	11月9日(水)～11月13日(日)	TFUギャラリーミニモリ
演奏関係事業	長 唄 演 奏 会	10月16日(日)	トークネットホール仙台
	音 楽 会	10月28日(金)	日立システムズホール仙台
文芸関係事業	文 学 散 歩	10月上旬	山形方面
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日(土)	700部発行
	文 芸 祭	10月22日(土)	東京エレクトロンホール宮城
人材育成事業	フォトサミット in Sendai 2022	7月16日(土)～7月19日(火)	せんだいメディアテーク
	絵 画 展 (公 募 の 部)	7月16日(土)～7月19日(火)	せんだいメディアテーク
	彫 刻 公 募 展	7月16日(土)～7月19日(火)	せんだいメディアテーク
	第42回音楽コンクールガラコンサート	9月25日(日)	日立システムズホール仙台
	第43回音楽コンクール両部門予選	令和5年2月19日(日)	日立システムズホール仙台
	ビ ヲ ノ 部 門 本 選	3月19日(日)	日立システムズホール仙台
	ヴァイオリン部門本選	3月26日(日)	日立システムズホール仙台
	写 真 セ ミ ナ ー	未定	未定

※1 茶道部による茶会は中止とする。

※2 例年と同様に仙台三曲協会定期演奏会、洋舞公演、歳末たすけ合い各流舞踊大会を芸術祭参加行事とする。

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会を提供することを目的として、次のとおり各事業を実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
鑑賞機会提供事業	第59回宮城県芸術祭絵画展受賞者作品展	12月6日(火)～12日(月)	東京エレクトロンホール宮城
	みやぎミュージックフェスタ	未定	未定
人材育成事業	宮城県各流子ども舞踊発表会	7月24日(日)	仙台市福祉プラザ
	県民との美術交流・ギャラリートーク	未定	せんだいメディアテーク
	第3回杜のみやこ工芸展	11月9日(水)～11月13日(日)	TFUギャラリーミニモリ
	書道部による県内小中学校への講師派遣事業	11月～2月	県内小中学校
	(宮城県文化振興財団共催)定禅寺フォトコンテスト	12月上旬	東京エレクトロンホール宮城
宮城県子供三曲演奏会	3月25日(土)	戦災復興記念館	
後援事業	本年も「河北書道展」等に賞状や賞金等を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、後援名義の承認、必要に応じた賞状や賞金等を提供する。(令和3年度承認実績:58件)		

※ 伝統文化体験事業として本協会と河北新報社との共催で茶道の普及啓発を目的に開催している杜の都大茶会はコロナウイルス感染の影響により中止とする。

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

国内外の芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、交流協議及び事業を次のとおり実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業	東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業	6月16日(木)	オンライン方式
宮城県・中国吉林省文化芸術交流事業	中国吉林省友好県省締結35周年記念事業	9月	オンライン方式

※東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業:本年度担当地区・幹事は宮城県・本協会。

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

本協会会員や多くの県民に参加の機会を提供する研修事業と、協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るための発行物の刊行を次のとおり実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
会 員 研 修	講演会(講師:白津守康氏)	5月21日(土)	仙台市福祉プラザ
発 行	機関紙「はなやま」発行	年4回発行(5・7・11・1月)	年4回発行
	「会員名簿」発行	7月頃	隔年発行

※研修旅行及び絵画部スケッチ研修会は新型コロナウイルス等、諸般の事情により中止とする。

令和 4 年度正味財産増減予算書

(令和 4 年 4 月 1 日～5 年 3 月 31 日)

科目	公益目的事業会計					他事業会計	法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000
受取入会金	0	0	0	500,000	500,000	0	500,000	1,000,000
受取会費	0	0	0	11,775,000	11,775,000	2,573,885	7,021,115	21,370,000
事業収益	7,064,000	1,682,000	0	0	8,746,000	700,000	0	9,446,000
受取補助金等	200,000	130,000	0	0	330,000	0	0	330,000
受取負担金	11,980,000	500,000	0	0	12,480,000	0	0	12,480,000
受取寄付金	111,000	40,000	0	0	151,000	0	0	151,000
雑収益	350,000	0	0	0	350,000	0	0	350,000
経常収益計	19,705,000	2,352,000	0	12,276,000	34,333,000	3,273,885	7,521,115	45,128,000
(2) 経常費用								
事業費	28,509,473	4,595,642	1,526,000	0	34,631,115	3,273,885	0	37,905,000
管理費	0	0	0	0	0	0	7,178,000	7,178,000
経常費用計	28,509,473	4,595,642	1,526,000	0	34,631,115	3,273,885	7,178,000	45,083,000
当期経常増減額	△ 8,804,473	△ 2,243,642	△ 1,526,000	12,276,000	△ 298,115	0	343,115	45,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	8,804,473	2,243,642	1,526,000	△12,231,000	343,115	0	△ 343,115	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	45,000	45,000	0	0	45,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	46,750,301	46,750,301	0	0	46,750,301
一般正味財産期末残高	0	0	0	46,795,301	46,795,301	0	0	46,795,301
II 指定正味財産増減の部								
一般指定財産への振替額	△ 10,000	0	0	0	△ 10,000	0	0	△ 10,000
当期指定正味財産増減額	△ 10,000	0	0	0	△ 10,000	0	0	△ 10,000
指定正味財産期首残高	120,000	0	0	0	120,000	0	0	120,000
指定正味財産期末残高	110,000	0	0	0	110,000	0	0	110,000
III 正味財産期末残高	110,000	0	0	46,795,301	46,905,301	0	0	46,905,301

公益目的事業会計事業費 (A)	[全体] 経常費用計 (B)	公益目的事業比率 (A/B)
34,631,115	45,083,000	77%

オンラインで工芸、写真展

県と吉林省の交流事業に協力 一部、リアル展示も検討へ

省側の意向にも沿った結論で、時期は9月を想定、双方、会場を用意し、工芸、写真の作品展示を申し合わせた。

工芸については、3年前、県が窓口となり、台湾・台南市が手掛けた「和風文化祭」に出展、協力した経緯がある。

写真については、仮に作品を輸送する場合でも、対応が容易で、双方、デジタル化の進展を受けて撮影機会の日常化が進むなど、広く関心を呼ぶとの期待も込めた。画像データを受信し、パネルに加工して「リアル展示」の実現を図る考えもある。

宮城県と中国吉林省との友好県省締結35周年記念事業をめぐり、県から芸術を柱とする文化交流への協力を求められている。当協会は、工芸、写真による展示交流を行う方針だ。県との協議で概要が固まった。開催時期は9月の見通しで、方式は相互訪問を伴わないオンライン交流にとどめる。吉林省とのすり合わせを踏まえた県と詳細を調整し、事業計画を確定させる。

事業への参加、協力については、理事会の理解を背景に、年明け以降、県の担当者や打ち合わせを重ねた。コロナ禍で人の往来に制約がある上、コストを含めて輸送面の難易度も高い状況を考慮し、在り方を探った結果、オンラインによる「交流展示」を目指すことにした。吉林

省側の意向にも沿った結論で、時期は9月を想定、双方、会場を用意し、工芸、写真の作品展示を申し合わせた。

工芸については、3年前、県が窓口となり、台湾・台南市が手掛けた「和風文化祭」に出展、協力した経緯がある。

写真については、仮に作品を輸送する場合でも、対応が容易で、双方、デジタル化の進展を受けて撮影機会の日常化が進むなど、広く関心を呼ぶとの期待も込めた。画像データを受信し、パネルに加工して「リアル展示」の実現を図る考えもある。

作品を映像で流し合うだけでは、交流の實質を確保し難く、作者による作品解説や、芸術関係者が意見交換するオンライン交流も構想する。また、交流展示の開会式実施も検討する。

作品の提供、撮影等で関係部門の役員をはじめ、各会員の理解と協力が必要になる。当協会は「国際交流」を取り組むべき事業の一つとして定款に掲げており、県の事業への協力はその履行に合致する。県と意思疎通を図り、現実的で無理のない計画を練り上げて、期待される成果を得たい。

宮城県制150周年記念事業 ロゴマーク、県芸術祭で活用 参加で相乗効果も期待

宮城県制150周年記念事業の内容が決まり、当協会も第59回県芸術祭で、記念事業のロゴマークを活用するなど、積極的に協力する。盛り上げに一役買う一方で、宮城県を通じ関連、協力事業として県内外に情報発信されることにより、芸術祭の開催が広く紹介され、認知の深化とともに県民らの参加を促す相乗効果も期待される。

事業は、節目の時に郷土の歩みを振り返りつつ、官民挙げて地域の新たな魅力を掘り起こし、光を当てることにより活性化を図るのが目的。当協会も趣旨に賛同し、記念事業推進連絡協議会の構成メンバーとして、協力の在り方を検討してきた。幹事会を経て、県発足の区切りである2月16日、県庁で村井嘉浩知事が記者会見。書面形式による協議会で確認された記念宣言（知事メッセージ）を發出するとともに、各団体等の関連イベント、取り組み等を公表した。

当協会は芸術祭開催の機会を活用し、掲示物やチラシ等にロゴマークを付記するなど、記念

宮城県と中国吉林省との友好県省締結35周年記念事業をめぐり、県から芸術を柱とする文化交流への協力を求められている。当協会は、工芸、写真による展示交流を行う方針だ。県との協議で概要が固まった。開催時期は9月の見通しで、方式は相互訪問を伴わないオンライン交流にとどめる。吉林省とのすり合わせを踏まえた県と詳細を調整し、事業計画を確定させる。

宮城県と中国吉林省との友好県省締結35周年記念事業をめぐり、県から芸術を柱とする文化交流への協力を求められている。当協会は、工芸、写真による展示交流を行う方針だ。県との協議で概要が固まった。開催時期は9月の見通しで、方式は相互訪問を伴わないオンライン交流にとどめる。吉林省とのすり合わせを踏まえた県と詳細を調整し、事業計画を確定させる。

宮城県の芸術、水準高く 県芸術選奨受賞者作品展

令和3年度宮城県芸術選奨の受賞者作品展が1月24～30日、東京エレクトロンホール宮城の展示室で開かれた。芸術選奨受賞者5名、同新人賞受賞者5名の作品と活動ぶりを映像を交えて紹介。宮城の芸術の現在地、充実ぶりを見せつける作品の数々が訪れた市民らの感嘆を誘った。

芸術選奨を受賞した安彦文平さん（美術洋画）、村山耕一さん（同・

安彦さんの作品は、写実を極め、ある意味、写真をも超えたような息をのむレベル。村山さんの作品は、素材を通じてガラス「時の魔術」は、独自の世界観を持つて書（墨象）を探索、意欲と独創性が見事に結実。宮城に芸協あり、を強く印象付けた。



工芸、太田蓮紅さん（同・書）は当協会の会員。それぞれ「三陸海岸に立つ」「迎え馬」「Geological glass」「仙台ガラス」。「時の魔術」は、独自の世界観を持つて書（墨象）を探索、意欲と独創性が見事に結実。宮城に芸協あり、を強く印象付けた。

今年もよろしく

令和4年度、当協会の活動を支えていただく賛助会員の皆さまをご紹介いたします。継続してご支援を頂戴しております。皆さまが大半で、心より感謝を申し上げますとともに、会員一同、さらなる精進をお誓いするものでございます。コロナ感染の先行きに不透明感が拭えず、芸術の社会への向き合い方が問われる状況が続いております。国際情勢は激しく動き、時代はまさに転換期。国内外、混沌とした時代だからこそ、芸術の役割を見詰め、深めて、機能の充実、強化を図らねばなりません。協会は明年、創設から60年の節目を迎えます。変わらぬご支援を推進力に、なお一層、気を引き締めて地域の芸術文化の振興という自らに課した命題に取り組んでまいります。引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。

(平石隆子理事長談)

支援継続 推進力に 活動支える賛助会員

賛助会員(予定を含む)の皆さま(50音順、敬称略)

▽団体

- アサヒビール株式会社仙台支社▽アストモスエネルギー株式会社東北支店▽株式会社アネステイ▽石堂建設株式会社▽株式会社イヤサカ仙台支店▽岩瀬薬品株式会社▽SMB C日興証券株式会社仙台支店▽ENEOS株式会社東北支店▽ENEOSグループ株式会社東北支店▽ENEOSTレーディング株式会社▽MOA美術館仙台児童作品展実行委員会▽株式会社オカムラ仙台支店▽株式会社河北新報普及センター▽株式会社北日本銀行仙台支店▽株式会社カイメイファーマシー東北▽キリンビール株式会社東北統括本部▽クリエイトプランニング株式会社▽クリオン株式会社東北営業所▽コクヨ東北販売株式会社▽株式会社五葉商事▽株式会社佐浦▽株式会社サンエーテック▽有限会社三帰興産▽株式会社七十七銀行▽医療法人社団初心会社社ホスピタル・あおば▽医療法人社団心々堂高橋眼科クリニック▽住友金属鉱山シボレックス株式会社▽株式会社清月記▽有限会社清泉▽正和工業株式会社▽一般社団法人仙台市医師会▽株式会社仙台銀行▽株式会社仙北建設▽損害保険ジャ

- パン株式会社仙台支店▽株式会社ダイフクプラスモア▽大和証券株式会社仙台支店▽竹田公認会計士事務所▽株式会社タツノ東北支店▽株式会社丹野林業建設▽ダンロップタイヤ東北株式会社▽株式会社電通東日本▽東京海上日動火災保険株式会社▽株式会社東北プリント▽同和興業株式会社▽トキオシステムソリューションズ株式会社東北支店▽学校法人常盤木学園▽凸版印刷株式会社東日本事業本部▽株式会社南北社▽株式会社日産サテイト宮城▽ネッツトヨタ仙台株式会社▽ノアメディカルシステム株式会社▽株式会社バイタルネット▽株式会社橋本店▽ハリウコムユニケーションズ株式会社▽株式会社バンザイ仙台支店▽株式会社ビー・プロ▽株式会社藤崎▽富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社▽ふじや千舟▽ブリヂストンタイヤソリューションズジャパン株式会社宮城地区本部▽株式会社マイナビ宮城支社▽有限会社松尾楽器▽魅知国定席花座株式会社BBI▽三井住友海上火災保険株式会社▽株式会社三井住友銀行東北法人営業部▽三井住友信託銀行株式会社仙台支店▽株式会社三菱UFJ銀行仙台支社▽三菱UFJ信託銀行株式会社仙台支店▽宮城トヨタ自

- 動車株式会社▽宮城日産自動車株式会社▽未来テクノス株式会社▽杜の都信用金庫▽矢崎エナジーシステム株式会社▽株式会社ヤマハミュージッククリテイリング仙台支店▽株式会社ユニグライフイック青葉画荘▽有限会社緑香園茶舗▽輪王寺▽株式会社ル・プロジェクト

◇個人

- 青木正▽麻生靖子▽安孫子南美▽井ヶ田製茶株式会社▽梅屋楽器店▽株式会社えかきや▽鹿野英生▽上村貞子▽川上伸昭▽川上浩▽菊田潔▽菊地宏▽ギヤラリースHUGEN(佐々木欧

パフォーマンスフェスティバル 仙台市など主催、華道部が協力

仙台市青年文化センター(公財・仙台市市民文化事業団)と仙台市が主催するパフォーマンスフェスティバルが2月26、27

の両日、日立システムズホール仙台で開かれた。大規模改修後の再オープンも祝したフェスティバルで、当協会もワークショップの開設に協力し花を添えた。コロナ下、遠出を控えた大勢の市民らが訪れた。

両日、コンサートホール、シアターホール、パフォーマンス広場、エントランスなど施設を全面活用した。コンサートあり、ライブ発表あり、展示ありと多

- 舟)▽後藤東陽▽小室照枝▽後藤東陽▽齋藤裕子▽佐々木康晴▽佐藤進▽白鳥良一▽鈴木真由美▽高橋正衛▽丹野俊一▽千葉昭吾▽中国料理東龍門▽西井陽子▽西川玉林堂▽畑山みさ子▽原也才志▽晩翠画廊▽眞砂宏▽松枝稔▽水野喜重子▽村松秀雄▽守山邦楽器▽矢部勇▽よろづ園茶舗

私達は芸術協会を応援します

- 新賛助会員 (個人) ◇丹野 俊一様

彩なプログラムを用意。新進のアーティストがレベルの高いステージを展開すれば、公募による出演者からも積み重ねた技量を目いっぱい披露するなど、会場は終日、盛り上がった。

研修室やギャラリーではワークショップも行われ、華道部が一般参加の市民ら約40人と一緒に季節の花を生けた。花器、花材は幾分、小ぶりながら、色とりどりの花木で少々早めの春の気配を漂わせた。

華道部の役員らが事業に協力。西村一観執行理事は「市民と接点を持ついい機会。目につきにいい場所でしたが、楽しんでもらえたのではないでしょうか」と、笑顔で手応えを語った。

「杜みや」が「陶説」に掲載
審査員の外館さん執筆、紹介

公益社団法人日本陶磁協会発行の専門誌『陶説』（12月、1月の合併号）に、当協会と河北新報社の連携公募展「杜のみやこ工芸展」が掲載、紹介された。審査員を務めた工芸評論家で多摩美術大教授の外館和子さんが、工芸展の概要を記事にまとめた。陶磁の雑誌だけに、内容は陶

芸が中心。入賞作品を軸に写真8枚を盛り込み、「杜みや」の充実、発展に向けた熱い思いを添えた記事が、3ページにわたり掲載された。全国の工芸関係者が目にする機会の多い専門誌。外館さんの自主的な対応はありがたく、掲載によって工芸展の周知が図られ、催事への注目度も高まるはずで、参加者の確保、そして増加へ、一定の効果が期待できそうだ。

◇会費納入のお願い

新年度を迎えましたので、令和4年度会費の納入をお願いいたします。

自動振替の会員は、今年5月2日（月）に引き落としを行いますので、指定口座をご確認願います。

郵便振替をご利用の会員は、同封の振替用紙で5月31日（火）までに納入願います。

なお、現在郵便振替をご利用の方は、事務処理上の都合により、できる限り自動振替（手数料は協会が負担）への切り替えをお願いいたします。手続きにつきましては、事務局にご相談ください。

◇会員名簿の発行について

隔年発行の当協会会員名簿は6月30日付で「令和4年版」を発行いたします。

記載事項に変更のある会員及びプライバシー保護の観点から住所や電話番号掲載の辞退をご希望の会員の方は、5月末日までに事務局に連絡願います。辞退者は所属部門と氏名のみ掲載となります（前回辞退の方で今回も同様の場合、連絡は不要です）。

また、名簿には広告を掲載してまいります。ご希望があれば事務局までご連絡ください。各部門が関係する企業・店舗等の紹介にもご協力願います。料金は1ページで3万5千円、2分の1ページで1万7千五百、5分の1ページで7千円です。

事務局日誌

会務報告

- ・第3回部長会議 1月17日
 - ・令和4年度に向けた対応について【第4回理事会】 3月18日
 - ・令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ・名誉会員の推薦について
 - ・正会員の入会について
 - ・法人運営規程の一部改正について
- 後援
- ☆早坂美名子フェルトセンスアート展 2月18〜27日
 - 美里町近代文学館
 - ☆美里町「河北展」杜のみやこ工芸展 3月10〜20日
 - 美里町近代文学館
 - ☆高橋麻子企画音楽の旅第15弾「モーツァルト ピアノソナタ全曲演奏」 3月20日
 - 常盤木学園シネトラウスホール
 - ☆2022みやぎを魅せる書展II 4月30日〜5月4日
 - せんだいメディアアテーク
 - ☆みやぎコーラルハーモニー第15回定期演奏会 5月8日
 - 日立システムズホール仙台
 - ☆第67回全国公募東北書道展 5月13〜18日
 - せんだいメディアアテーク
 - ☆第6回二科東北支部連合展 5月27日〜6月1日
 - せんだいメディアアテーク
 - ☆第28回一般社団法人二科会写真部宮城支部展 5月27日〜6月1日
 - せんだいメディアアテーク
 - ☆第44回仙台の四季を描く絵画展 6月3〜8日
 - せんだいメディアアテーク
 - ☆第48回宮城二紀展

- 6月3〜8日
- せんだいメディアアテーク
- ☆第56回チャールズ会仙台展 6月17〜21日
- せんだいメディアアテーク
- ☆鈴木麻由子ソプラノリサイタル「紫陽花の頃にv.o.l.3」 6月18日
- 宮城野区文化センター

会員の入賞・入選など

（事務局に連絡があったもの）

- ◇第88回独立展
- ▽独立賞 星健悦 入選 安達秀子、大坂祥春、兵藤由紀子、帆苺清治、本田崇、町田美野、三浦一博、目黒喜三郎
- ◇第77回春の院展
- ▽入選 三浦長悦
- ◇第6回新春展
- ▽入選 荒井静子、奥山和子、小泉百合子、板橋千穂、新藤圭一、桶谷光代

受贈書

（ ）は寄贈者 『非懐紙連句集 雲をふむ』（狩野康子）

謹弔

- 絵画部（洋画） 木皿京子 殿 11月11日
- 華道部（本原松栄流） 田中一俊 殿 1月23日
- 茶道部（裏千家） 細田宗倫 殿 2月10日
- 文芸部（俳句） 石崎径子 殿 2月13日
- 文芸部（俳句） 佐野久乃 殿 2月27日

けやきの譜

進歩幻想の現実を知る。21世紀の地球社会で目を覆う惨劇が続く。災厄が相次ぎ、今はおぞましい人災、ロシアによるウクライナ侵攻である。暮らしを吹き飛ばす廃墟と化した街の映像が流れる。胸が痛い。学ばぬ人類の未来を憂える▼国連幻想の現実を知る。和平に向けて動けない、効果的な手が打てない。先の大戦の戦勝国連合なるが故の無力さに愕然とする。国連改革、安保理改革の緊要性が叫ばれる。人類は考える葦足り得るか▼平和幻想の現実を知る。悲劇は遠い異国の出来事にとどまるまい。国際的なパワーゲームがいつ何時、どこで火を噴くか分からない。国際社会に期待し、協調と融和に努めるだけでは不十分。「わがこと」と受け止める洞察が要る▼現実を直視しつつも、嘆いてばかりいられない。文化芸術に何ができるか。諦めることなく思索を深め、実践を重ねたい。芸協は新体制での船出を問近に控える。旺盛な活動がコロナ時代を乗り越え、荒れ狂う分断と対立の潮流に抗う礎にもなりますように。